

成果の説明書

(氏名) 田戸岡 好香	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>○教育</p> <p>「社会心理学」,「社会調査(量的調査)」,「社会調査演習」といった授業を担当した。また,2年生対象の「基礎演習」,3年生対象の「演習Ⅰ」といった演習授業を担当した。</p> <p>○研究活動</p> <p>科学研究費補助金(若手B)を受けて、『社会的弱者へのバッシングはなぜ生じるのか:ステレオタイプ内容モデルからの検討』という研究課題の下,研究を行った。また,共同研究では,衣服が人の心理や行動に及ぼす影響について検討を行った。具体的な成果は以下のとおりである。</p> <p>【翻訳】</p> <p>田戸岡好香(2019) 第1章 潜在的偏見の本質:個人のポリシーと公的な政策への示唆 行動政策学ハンドブック:応用行動科学による公共政策のデザイン エルダール・シャフィール(著) 白岩祐子・荒川歩(監訳) pp.16-38</p> <p>【学術論文】</p> <p>石井国雄・田戸岡好香(2020). ナース服の色が女性看護師に対する印象に及ぼす影響 清泉女学院大学人間学部研究紀要 17, 1-11.</p> <p>【学会発表】</p> <p>田戸岡好香・石井国雄(2019).なぜフリーターはバッシングされるか?ステレオタイプ内容モデルからの検討 日本社会心理学会第60回大会発表論文集, 262.</p> <p>田戸岡好香・小森めぐみ(2019) ポジティブなメタステレオタイプが援助判断に及ぼす影響:ステレオタイプ内容モデルに基づいた検討 日本グループ・ダイナミクス学会第66回発表論文集, 96-97.</p> <p>石井国雄・田戸岡好香(2019). ナース服の色が女性看護師に対する印象に及ぼす影響 日本社会心理学会第60回大会発表論文集, 320.</p> <p>小森めぐみ・田戸岡好香(2019) ポジティブなメタステレオタイプの内容が援助判断に及ぼす影響:水害支援金額と援助隊派遣人数を用いた検討 日本心理学会第83回大会発表(webプログラムのため,頁番号なし)</p> <p>上記に加え,心理学実験を2件行った。その成果を学術論文にすべく,現在執筆中である。</p> <p>また,社会心理学関連の著書において,ステレオタイプの章を分担執筆し,2020年度に発刊予定である。</p> <p>○学会・社会における活動</p> <p>①心理学検定局運営委員として,日本心理学諸学会連合が行う心理学検定の実施を担当した。</p> <p>②『心理学研究』誌の査読を行った。</p>	

2 その他の事項

学内における学生指導委員として、本学ボランティア活動支援室の周知活動を行った。また、本支援室主催で『90分でわかるボランティア講座：キャリア形成と地域・企業・ボランティア』と題した講演会を開催した。学外活動として、本支援室を中心に台風19号被災地支援を行い、栃木県佐野市にてボランティアとして活動した。

3 次年度以降の計画・抱負

教育面では、今年度から始まる「演習Ⅱ」の授業において、卒論指導を丁寧に行いたい。そのほかの授業についても、昨年度の反省を踏まえながら、講義を行う。

研究面では、次年度も科学研究費を受給することが決定したため、予定した実験を着実に行いたい。一方で、これまで行った実験の総括を行い、学术论文の形で投稿するよう準備を進める。引き続き、共同研究も積極的に行いたい。

加えて、ボランティア活動支援室の周知活動を続ける。